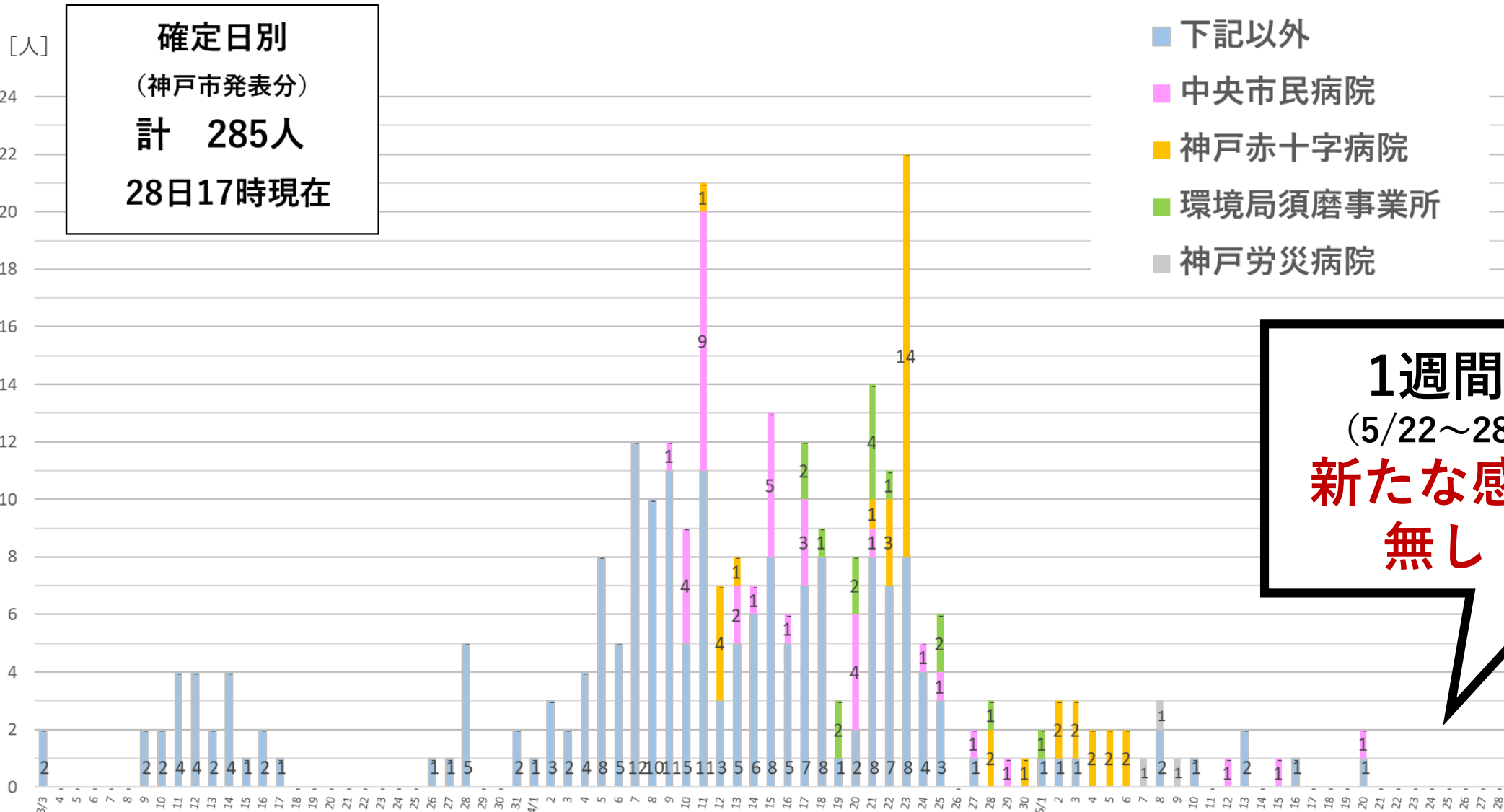


新型コロナウイルス感染症対策

神戸市・神戸市医師会協力による
新型コロナウイルス検査センターの
開設について

2020年5月29日 臨時会見

市内の感染者発生状況



緊急事態宣言の解除とwithコロナ時代

5/21 [木]



神戸市を含む兵庫県が
緊急事態措置を実施すべき区域から除外

5/25 [月]



全ての都道府県で緊急事態解除宣言



新型コロナウイルスの根絶はできず、
withコロナの時代に



再度の感染拡大に備えた息の長い対応が必要

サーベイランスの重要性

市中の新たな感染拡大の兆しを
早期に把握することが必要



そのための一つの対策として、
PCR検査体制の確保が重要

現在のPCR検査までの流れ

感染が疑われる場合の一般的な流れ [現在]

症状
出現

帰国者・
接触者相談
センターへ
相談

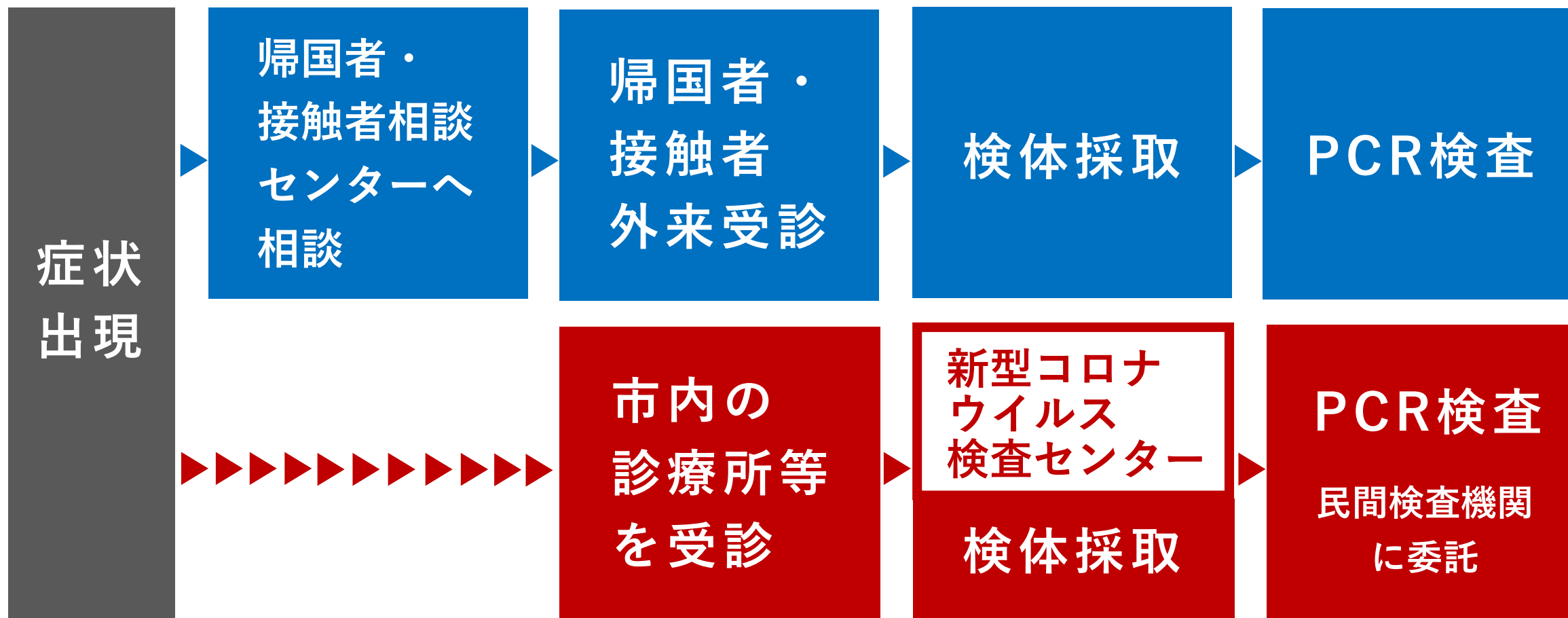
帰国者・
接触者
外来受診

検体採取

PCR検査

新型コロナウイルス検査センターの設置

新型コロナウイルス検査センター設置後の流れ



新型コロナウイルス検査センターの概要

センターの 機能

新型コロナウイルス感染症が疑わしいと市内の診療所等の医師が判断した神戸市在住の患者のPCR検査のための検体採取を行う。

検体採取時間

毎週月～金 [祝日除く] 13:30～15:30

検体採取件数

最大 **20** 件/日 [ウォークスルー方式]

検体採取場所

非公表

検査実施

検査は民間検査機関を活用して実施

検査結果通知

原則として検査日の翌日中に診療所等の医師に通知

運営開始日

令和 **2** 年 **6** 月 **8** 日 [月]

PCR検査体制の確保



十分な検査体制を確保することにより、withコロナ時代に必ず必要な市中の新たな感染拡大の兆しを早期に把握する機能を強化します。

神戸市医師会について

名称

一般社団法人 神戸市医師会

会長

置塩 隆

設立

昭和31年4月

所在地

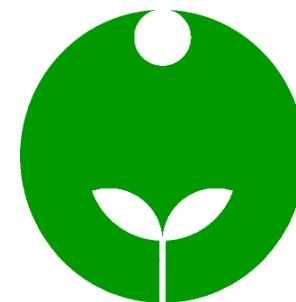
神戸市中央区橘通4-1-20
(神戸市医師会館)

加入医療機関数
加入者数

1,414 機関
2,729 名

概要
沿革

昭和31年4月 市内の各医師会を統合し、新たに社団法人神戸市医師会設立
昭和38年 医師会臨床検査センターの発足、准看護学校の設立
昭和44年 予防接種の神戸方式（個別接種）の実施
昭和46年 市内に休日急病電話相談所の開設
昭和50年 夜間急病診療所の発足
昭和56年 医師会館本館の落成
平成6年 医師会看護専門学校の統合



新型コロナウイルス感染拡大を受けた 神戸市医師会の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策本部設置 [1月30日～、毎週1回開催]

神戸市医師会役員で組織、随時神戸市・市民病院群・民間病院協会・第二次救急病院協議会・区医師会会長等が参加

会員への診療支援

感染症対応講習会の実施、サージカルマスク・グローブ・ガウン・消毒薬等の調達支援等

会員への情報周知

行政や日本医師会、日本環境感染症学会からの市内発生状況、感染防止対策等の情報伝達、周知

市民への啓発

帰国者・接触者相談センターの周知、一般の診療所を受診する際の注意点の案内ポスターなど

宿泊療養施設への医師の派遣 [6月1日～]

新型コロナウイルス検査センターの運営受託 [6月8日～]

新型コロナウイルス検査センター業務フロー

発熱・呼吸器症状を有する市民

↓ 受診
[電話または対面]

↑ 患者への結果報告
[陰性・陽性]

↑ 入院調整

市内の診療所等 [かかりつけ医]

↓ 検査予約
診療情報提供書

↑ 検査結果報告

陽性



全数報告

神戸市保健所
各区保健センター

新型
コロナウイルス
検査センター



検査依頼



結果報告

民間検査機関